

ITCイースト東京 2020年度活動 ご報告

2021年 5月17日
ITCイースト東京

目次

1. 2020年度活動方針
2. 2020年度活動計画
3. 分科会1活動報告
 - ・会員のスキルアップ機会創出(ITC向けセミナー)
4. 分科会2活動報告
 - ・会員交流・会員ネットワーク構築
5. 分科会3活動報告
 - ・会員の豊かなセカンドキャリア創出
6. 分科会4活動報告
 - ・「ITCビジネス」に必要な知識、経験、スキルを磨く
7. 関係団体連携
8. まとめ



1. 2020年度活動方針

目 的

- **I T C協会の規定する
経営課題解決のための取り組み手法などを
テーマに研究活動を主に行う、
「勉強会志向」の届出組織として活動する。**
- **I T Cイースト東京会員のスキル向上**
- **スキル向上や会員交流の結果として
アイデアによる I T C活動のシーズを発掘する。**

活 動

★会員のスキルアップ^o機会の提供

- ・学習ポイント取得^o機会の提供
- ・スキルアップ^o機会の提供
- ・会員 I T C の交流^o機会の提供
- ・新しいアイデアによる I T C 活動のシーズ^o発掘

組 織

- **会長** I T C イースト東京を代表し、公的機関、I T C A などへの公式責任者となる。理事の中から選出する。
- **副会長** 会長を補佐し、会長に事故などがあつた場合、会長の代行を行う。理事の中から選出する。
- **理事** 総会の意志に基づき、分科会の活動に対する方針、意志決定を行う。また、分科会のリーダー又はイースト東京全体のリーダーとして、総会・理事会の意志に基づき、I T C イースト東京の実務活動を推進する。
- **監事** 会計監査を含めた I T C イースト東京の運営・活動に関する監査を行う。
- **事務局** I T C イースト東京の活動を推進するのに必要な補助的活動を行うことで、活動を支援する。
- **総会** 会員全員で構成し、I T C イースト東京の活動方針、予算などを決定する、最高意志決定機関とする。
- **理事会** 総会の意志に基づき、I T C イースト東京の活動主体である分科会の活動をとりまとめ、推進する機関とする。会長、副会長、理事、監事、事務局で構成する。
- **分科会** 同じ思いを持つ、正会員メンバで構成し、I T C イースト東京の実務活動を担う主体とする。
- **正会員** I T C イースト東京の活動に賛同する個人（I T コーディネータ）で構成する。
- **賛助会員** I T C イースト東京の活動に賛同する法人で構成し、I T C イースト東京の活動を支援する。

分科会とそのミッション

分科会 1 : 会員のスキルアップ機会創出

- 会員のスキルアップ機会創出
- 学習ポイント取得機会創出

分科会 2 : 会員交流・会員ネットワーク構築

- 分科会 2 自主勉強会
- 会員交流企画検討実施
(ex.交流会、地域企業、工場、企業見学など)

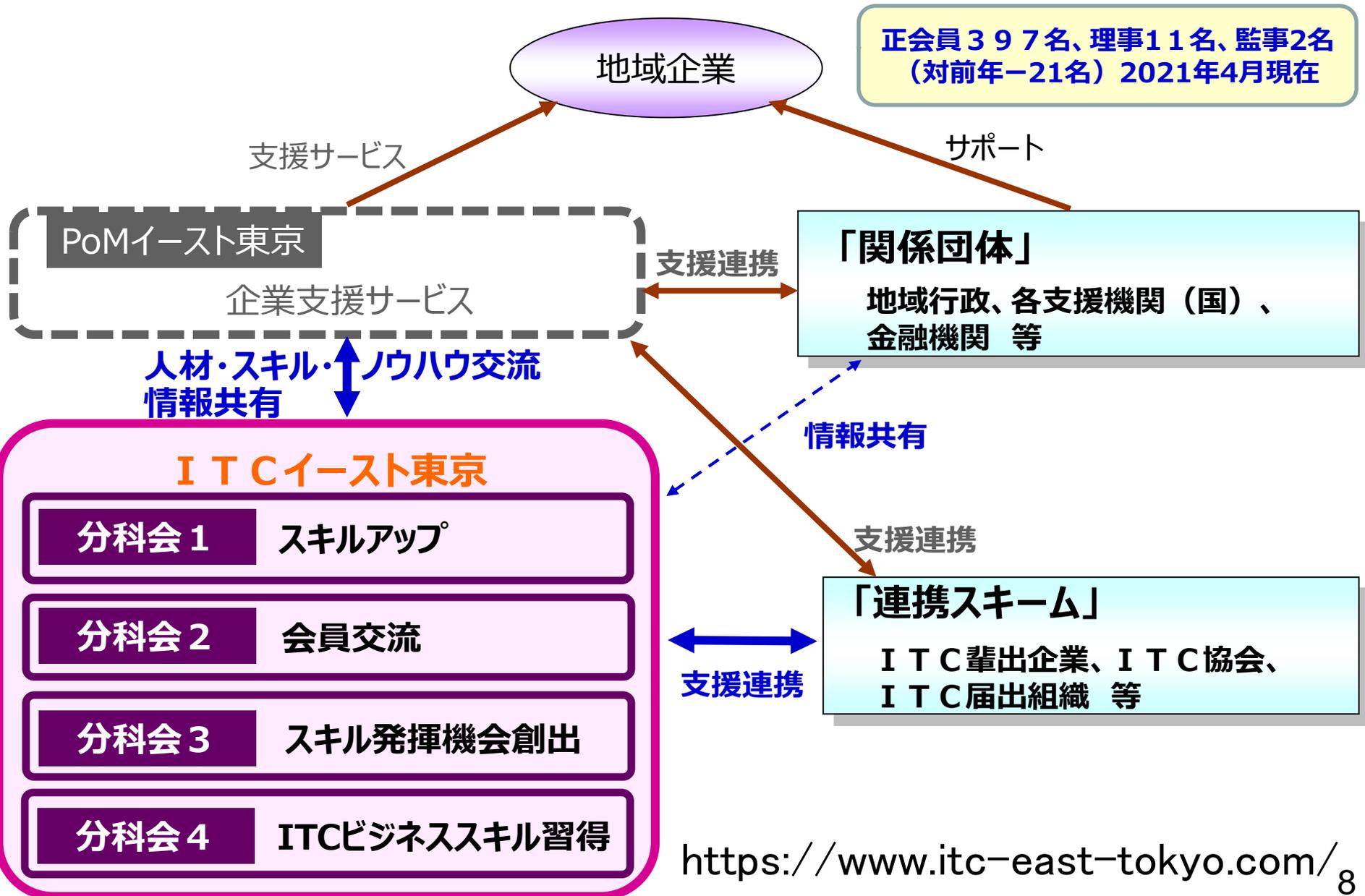
分科会 3 : 会員の豊かなセカンドキャリア創出

- 分科会3メンバによる情報交換 (Facebook活用)
- 同様の課題認識を持つ他コミュニティとの交流イベント開催
- 会員交流からの新たな活動提案

分科会 4 : ITCビジネスに必要な知識,経験,スキルを磨く

- ITCとしての実践力向上に意欲を持つ会員の相互研鑽
- ITCビジネスの準備のための知識修得
- 擬似体験の提供

I T C イースト東京活動概要図



事務局機能

・事務局は、全体活動を補助する以下のような機能を遂行する。

[事務局機能]

- ① 会員管理 :
- ② 理事会／総会への情報提供・運営 :
- ③ 会計管理 :
- ④ HP 管理（イベントの案内、受付機能含む） :
- ⑤ イベント企画の申込み受付・名簿作成・提供 :
- ⑥ 対外窓口（メール、電話） :
- ⑦ 各種啓発冊子維持管理 :
- ⑧ 過去電子データ管理 :
- ⑨ 顧客データ管理 :
- ⑩ 広報キット維持更新 :
- ⑪ 固定資産管理 :

R1年度活動方針・活動テーマ・活動施策概要

**活動方針：「IT経営の啓発から推進までを担える
人材へのスキルアップを推進する。」**

4つの専門的役割分担（分科会）の中で、会員のスキル向上を図る。

活動テーマ

- ①個々の会員のスキル向上を図り、地域企業の経営革新、IT化支援などが可能なITCリソース・要員を確保・強化する（分科会1）。
- ②会員の交流を図り、会員相互の啓発や、ネットワークを構築する（分科会2）。
- ③獲得スキルおよび会員交流を活かして外部交流も含めた活動によるスキル発揮機会を創出（分科会3）。
- ④将来独立ITCとして活動することを目指した「ITC資格を活かす」ビジネスのスタートアップ準備のため、必要な知識修得と疑似体験を実践。（分科会4）。

活動施策

- ①企業支援可能な要員をより多く確保するため、会員の交流・スキルアップを図る。
 - ・セミナー、会員勉強会、事例研究、企業研究などを行う。
- ②IT経営のアイデアを輩出するため、新しいアイデアを検討し、活動のネタを発掘する。
 - ・アイデア検討会などを行う。
 - ・IT経営連携機関との交流・情報交換を図る。

2. 2020年度活動計画

1. 分科会1 活動計画

1. 目的

- ・会員のスキルアップ機会の提供
- ・学習ポイント取得機会の提供

2. セミナー予定

- ・年2回 … 11月、5月
- ・4時間／回（3講演、4ポイント）
- ・開催場所：Zoom

※ 状況により豊洲文化センターとハイブリッドで実施

3. セミナー対象者

- ・ITコーディネータ
（ITCイースト東京会員以外のITCも含む）

2. 分科会 2 活動計画

1. 目的

- ・会員交流活動（交流の企画／運営）
- ・会員間のネットワーク構築

2. 計画案

- ①分科会 2 メンバによる自主勉強会＋会員交流企画検討会
・9回（4月～3月、1回／月）程度
- ②会員交流イベント（勉強会、見学会、交流会など）
 - ・勉強会（1H／回）＆交流会（1.5h／回）：3回
（ITC協会届出組織として後援を受けての勉強会予定：3回）
 - ・見学会：1回
 - ・会員交流からの新たな活動提案：1～2件
・他コミュニティとの交流など

3. 分科会3 活動計画

1. 目的

- ・会員の豊かなセカンドキャリア創出

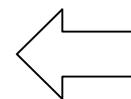
2. 計画案

- ①分科会3メンバによる情報交換会開催
- ②同様の課題認識を持つ他コミュニティとの交流会開催
- ③会員交流からの新たな活動提案（例：留学生連携）

※ 今年度は、賛助会員内社員と活動を共有して幅を広げます。

分科会3
(in ITCイースト東京)

「はばたくプレシニア」
コミュニティ
(in 賛助会員)



2つの切り口から
活動し、会員の
有益性を高める

4. 分科会4 活動計画

1. 目的

- ・ITCビジネスの準備のための知識修得
- ・擬似体験の提供

2. 計画案

- ①分科会4メンバによる自主勉強会
 - ・6回(7月～3月にて、1回/月)程度
- ②体験会イベント(セミナー運営体験など)
 - ・経営者向けセミナー運営体験 : 1回
 - ・活動報告イベント開催 : 1回

4. 分科会4 活動計画

■ 分科会4で実現すること

ITCビジネスに取り組むことを目指す ITC が、
「将来、ITCビジネスを実践できるようになる」ための
研鑽の場 を提供します。

問題・課題はなんなの？
目指すゴールは？
どの様にITへ取り組むの？



中小企業の方



研鑽の場 ⇒ 分科会4



ITC

将来、
ITCビジネスに
取り組みたい

- ・実践に役立つ事例研究,情報共有
- ・実際の実践に体験参加
- ・実践に必要なツール整備



3. 分科会1活動報告
会員のスキルアップ機会創出(ITC向けセミナー)

分科会1の活動メンバ

★メンバ:3名

1. 齋藤 尚志 会員(独立系ITC) リーダー
2. 小林 裕明 会員(企業内ITC) サブリーダー
3. 奈良 直樹 会員(企業内ITC)

ITC向けセミナー実施実績(1)

■セミナー名:2020年度ITCイースト東京主催特別オンラインセミナー

■日時: 2020年 9月25日(金) 19:30~20:30

■運営場所: 江東区豊洲シビックセンター 7F レクホール
〒136-0061 東京都江東区豊洲2-2-18 TEL03-5534-9299

■開催場所: Zoom開催

■講演内容:

講演:「ITを経営の力とする ~我々ITCはいかに顧客に働きかけるべきか?~」

講演者: ITCイースト東京会長 森内正美

■講演目的

- ・会員のスキルアップ
- ・初のZoom開催であり、集客・運営場所・運営の課題の確認、トライアル

■集客数: 26名(有料:24名、無料:2名、賛助会員、一般会員、外部・ITC等分析不能)

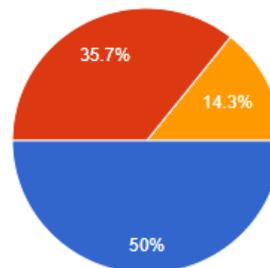
参加:20名、欠席:6名

■アンケート結果(有効回答:14人)

とても良い : 7人
良い : 5人
普通 : 2人
あまり良くない: 0人
良くない : 0人

総合評価

14件の回答



● とても良い
● 良い
● 普通
● あまり良くない
● 良くない



ITC向けセミナー実施実績(2)

■総合評価

- ・26名申込、20名参加
- ・アンケート結果は満足度4.4で好評であった。
- ・開催時間の影響か、通常の集客人数の30%であった。
- ・内容については対象のレベル設定が難しかった。
- ・従来の参加者の区別ができなくなった。
- ・Zoom運用は3人体制で出来、大きな問題は無かった。
- ・遅刻者/早退者の管理が出来ない。
- ・地方からの参加メリットは評価されたが、集客努力不足である。

■改善方向

- ・地方からの集客努力をする。
- ・内容を工夫する。
- ・飽きの来ない運営の工夫を行う。
- ・Zoom運営は大きな問題は無かった。

ITC向けセミナー実施実績(3)

■セミナー名:2020年度第1回ITCイースト東京セミナー

■日時: 2020年11月16日(月) 12:30~16:30

■開催場所: Zoomセミナー

事務局:江東区豊洲シビックセンター 7F レクホール

■講演内容:

講演1: 「コロナ禍での社会的構造変化と我々ITCのビジネス機会

~2045年の妄想とITCとしてすべき事~」

ITCイースト東京 分科会2、分科会4 メンバー

講演2: 「令和流 副業の極意 ~サクッと5万 商材探しは自分探し~」

元文化庁 あとりえとこ 代表 小代 有美 様

講演3: 「2割の知識で8割の経営判断ができる ~脱★ドンブリ経営実践セミナー~」

中小企業診断士・キャッシュフローコーチ 大島 季子 様

講演4: 「分科会活動報告」

分科会2・3・4 リーダー

■集客数: 78名(賛助会員56名、POM会員5名、外部・ITC15名、外部講演者2名)

参加:70名、欠席:8名、Zoom参加実績:80端末、2端末参加:3名

全て出席:59名、3/4以上出席:69名、180分を下回る:11名(30分以下:7名)

■アンケート結果(有効回答:50人)

とても良い : 24人

良い : 23人

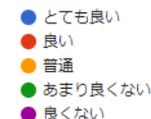
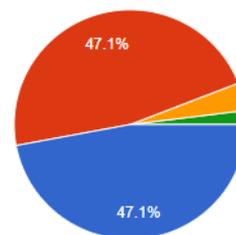
普通 : 2人

あまり良くない: 1人

良くない : 0人

総合評価

51 件の回答



ITC向けセミナー実施実績(4)

■総合評価

- ・集客78名、参加者が70名となり、昨年度秋に比べ6名増となった。全面オンライン化は初であったが例年並み・それ以上の集客ができることが分かった。アンケート回答50名中地方参加が5名おり地方会員も隔壁なく参加できる環境になった。ただ、外部・一般会員 **-11名**(昨年度26名)となり今後は外部・一般会員への働きかけを進めていきたい。
- ・アンケート結果は「とても良い」「良い」が94%で前回比+7ポイント(昨年度秋87%) 大好評であった。
- ・講演1は、時流に乗ったテーマで情報の量・質が良くまとめられ、近未来像を聴講者に考えて頂く良い機会になった。
- ・講演2は「副業」と言うテーマというより、 紆余曲折の経験から「自分の世界やこだわりをお店という舞台上で表現する」という生きざまの話が参加者にインパクトを与えた要因であろう。好評であった。
- ・講演3は、複雑な会計を「お金のブロックパズル」を使い経営者と社員の意識のずれを解消するという納得度の高い講演で好評であった。
- ・講演4では分科会(分科会2、3、4)の活動状況を報告、興味を持った会員が増えたと思われる。
- ・全体的にバリエーション豊かな講演となり高い評価につながったと思われる。ただし、こういったバランスの良い企画は必ずしも計画的に出来る訳でもない。ある程度の講演者の選択と依頼もあるが乗るか反るかは講演者次第という側面もある。

■改善方向

- ・今後とも、経験豊かな講演者とテーマのバランスを考慮していきたい。
- ・一般、外部の方へのアプローチの強化を行いたい。
- ・Zoomセミナーは継続していきたい。
- ・途中音声混入を制御していく。
- ・Zoom参加者制御は課題とする。

活動の成果と評価、今後への課題

(1) 成果

- ・2020年度の第1回ITCセミナー(5月18日予定)は、コロナ禍・緊急事態宣言が発出されたため中止を余儀なくされた。秋のセミナーの集合開催を断念し、急遽peatix募集・Zoom開催に切り換えることにした。そのため9月25日にトライアルも兼ね特別Onlineセミナーを開催した。
- ・テーマを「コロナ禍のITCビジネス」等トレンドな講演内容で好評であった。
- ・秋(11/16)のセミナーを前年度のものと比較すると、参加人数は78名(前年度+6名)であった。賛助会員:56名(+15名)、一般外部:15名(-11名)で、賛助会員が大幅に増えた。特に、Zoomにより初の地方参加が5名あった。ただし、収益源の一般外部の減少が課題である。今後は、事務局用小規模会場への変更と更なる地方会員・一般外部の取り込みを推進する。また、Zoomの100人越えの人数対応を検討していく。

(2) 今後への課題

- ①魅力があり、トレンドで役に立つ講演の設定
(グレート・リセット、Afterコロナ対策、DX、セカンドキャリアetc)。
- ②賛助会社からの支援を維持すること。
- ③地方会員の取り込みと一般外部参加者の増大。



**4. 分科会2活動報告
会員交流・会員ネットワーク構築**

分科会2の活動状況

★分科会2メンバ自主勉強会

分科会2メンバー23名
(独立系9名、企業内14名)

回	開催日	テーマ	人数	場所
1	2020. 4. 23	オンライン勉強会のツール・やり方を 実践	13名	ZOOM&Teams
2	2020. 5. 25	テーマ検討、ファシリテーション学習	15名	ZOOM
3	2020. 7. 2	WITHコロナAFTERコロナを討議	17名	ZOOM
4	2020. 7. 22	未来像2045年を討議	11名	ZOOM
5	2020. 8. 19	製造業など業種別の討議	12名	ZOOM
6	2020. 9. 23	分科会4との連携を討議	11名	ZOOM
7	2020. 10. 14	WITHコロナAFTERコロナのまとめ	14名	リアル&ZOOM
8	2020. 11. 4	ITCイースト東京セミナーリハーサル	12名	リアル&ZOOM
9	2020. 12. 15	ITCイースト東京セミナーの振り返り	15名	ZOOM
10	2021. 2. 2	次年度テーマ検討	9名	ZOOM
11	2021. 3. 9	自分の得意分野の振り返り・共有	10名	ZOOM
12	2021. 3. 14	見学会「バーチャルツアー マチュピチ ユ見学」HISペルー社	—	ZOOM

11/16
発表

分科会2の勉強会について

1. 2020年度テーマ「WithコロナAfterコロナ」
毎月、実践力ポイント蓄積
2. 月例勉強会での議論・課題・討議・取りまとめ
3. ITCイースト東京セミナー(11/16)にて発表
4. テーマ研究・調査報告書の提出

月例勉強会での議論

- ・ 新型コロナで何が起きたのか？
- ・ 環境が変わる！（世界・国・企業・社員・個人）
- ・ 2045年に起こるべくものとは？妄想しよう！
- ・ ITCを取巻く環境と「これからすべき事」

分科会4：ITC実践の報告

テーマ研究・調査報告書（3月提出）

実践力ポイント
獲得

ITC協会へ提出
してHP掲載

ITCイースト東京 のHPへ掲載



講演 1

「コロナ禍での社会的構造変化」
と「我々ITCのビジネス機会」
～2045年の妄想とITCとしてすべき事～

2020年11月16日

ITCイースト東京
分科会2 / 4

新型コロナウイルスの発生から
約10ヶ月。我々のまわりで何
が起きたのでしょうか？
街から人が 消えた！
生活環境 が変わった！
企業環境 も変わった！
世界情勢 はどうなるのか？
我々はどこに向かうのか！

資料集：情報ネタURL

目次

1. 概算要求/令和3年度予算
2. 白書2020
3. 内閣府「選択の未来2.0」
4. 中小企業お役立ちサイト
5. 未来予想図

分科会2 活動の成果と評価

- ・「WITHコロナAFTERコロナ」をテーマとして、メンバーは身の周りを振り返り、今後の環境がどのように変わっていくかを討議できた。
- ・対面をなくす働き方であるテレワークや、コミュニケーションのこと、健康問題など語り合い、知恵や経験を共有できた。
- ・ビジネス環境で構造的変化がもたらされるであろう今後の2045年を予想し、既に提示されている未来像を学習するなど大きな時代の変化を理解できた。
- ・国のデジタル環境の課題、今後の方向性を見据え、ITCが何をしていかなければならないかを討議し、報告できた。

以上のことから、分科会2の目的である「会員交流活動（交流の企画／運営）、会員間のネットワーク構築」ができた。



5. 分科会3活動報告
会員の豊かなセカンドキャリア創出

分科会3活動状況

10月29日に、Zoomにて情報交換会を開催しました！

■テーマ：先輩ITCの企業卒業後の生き方を参考に、
「ビジネスモデルYOU」でパーソナルキャンバスを描いてみよう！

■プログラム：

- 「あるあるCIO®」のご紹介とカードゲーム「つなせん」のご紹介
一般社団法人 中小企業IT経営センター 代表理事 野村真実様
- 企業卒業後の社団法人立ち上げとITCビジネスのリアル
一般社団法人 経営パートナーズ・イースト東京 代表理事 池島晃様
- 先輩ITCが語る企業卒業間近の取り組み
一般社団法人 経営パートナーズ・イースト東京 理事 早川直樹様
- 「ビジネスモデルYOU」とパーソナルキャンバスを使ったワークショップ
一般社団法人 経営パートナーズ・イースト東京 理事 好澤一穂様

分科会3活動の成果と評価

新型コロナウイルスの影響により活動が停滞し、今年度は、10月29日にZoomにてオンライン開催した情報交換会1回のみとなってしまった。

一方、参加者(35名)からの声では、定期開催の要望なども多く、生涯現役に向けて有益な情報提供の場になったと考える。また、当該領域でのニーズがあることが確認できた。

参加者の声

私は50代前半ですが、将来のことを考えて、このような場で有益な情報を共有していただけたらいいので、定期的を開催していただけたらうれしいです。

大変参考になりました。

またの開催を期待します。パーソナルキャンパスの資料が欲しかった。

もりだくさんで嬉しいでした。またいろいろ企画してください。ありがとうございます。

定年後の話、それまでの準備などについて聞いて有意義な時間でした。

ありがとうございました。今後も継続して研修の開催をお願いいたします。



6. 分科会4活動報告

ITCビジネスに必要な知識,経験,スキルを磨く

分科会 4 活動メンバー

★メンバ： 11名（2021/3 時点）

- 1. 都間会員（企業内）リーダー
- 2. 岡野会員（独立系）サブ
- 3. 森元会員（独立系）
- 4. 岩本会員（企業内）
- 5. 田中会員（独立系）
- 6. 米津会員（独立系）
- 7. 奈良会員（企業内）
- 8. 小幡会員（ITCA）
- 9. 瀬戸会員（企業内）
- 10. 三宅会員（企業内）
- 11. 岩嶋会員（企業内）

●は事務局
役割は適宜追加

分科会 4 活動の詳細

中小企業の課題解決に向けて具体的に使える手持ち道具を増やす活動について

■ 背景と狙い：

将来の独立系ITCを目指すにあたり自身の**具体的な領域**、**得意分野**が見極められず、企業支援の実践に不安を持たれている方々が多い。

これらを解消するために、自身の手持ち道具、得意領域を増やし、**不安を解消**する活動を進める中で、中小企業の課題解決支援に向けて、

- ①「自動化」という「解決策」を参加メンバーが使いこなせるようになる
- ②「遠隔をつなぐ」という「解決策」を参加メンバーが使いこなせるようになる

という目的で、

- ①RPA
- ②Web会議ツール

を取り上げ、これら道具を自分のものにする、として活動を行った。

私の得意分野は何？
強みは何だろう？

企業の支援に
不安が...



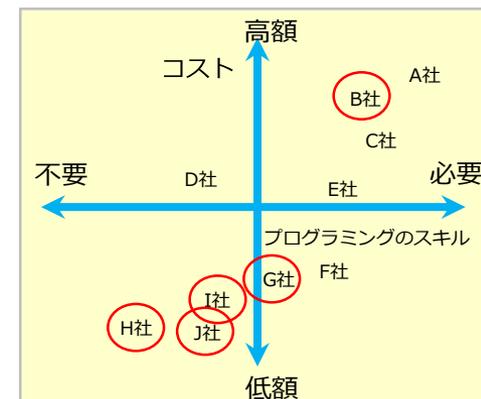
分科会 4 活動の詳細

中小企業の課題解決に向けて具体的に使える手持ち道具を増やす活動について

1. 自動化ツール(RPA)

■ 活動内容：

- 2020年4月から、知識習得のみならずRPAを実際に使う・動かすことに注力し、複数メンバーで実践を開始
 - 各RPAの資料を入手、手分してセミナーに参加し情報収集し**メンバー全員**で共有
 - 実際に自動化のシナリオを作成し、自ら体現してみてもノウハウを蓄積：**4名で実践**
 - **5種類**のRPAに挑戦
 - シナリオ作成数は延べ**20種類**
 - ✓ コロナ感染者推移集計、複数銘柄株価収集、研修アンケート集計
 - ✓ ファイルのアップロード・ダウンロード、交通費精算チェック等
- RPAベンダーと密に連携し、さらにノウハウを収集
 - RPAベンダー社長様を招いて分科会4定例会にて勉強会を開催
 - その後もZoomを使って定期的に意見交換を実施：**20回**
- さらに、中小企業の中でRPAをどう使うか、何に使うことが効果的か、の**見極めポイント**なども習得
 - **独自の比較表**を作成、**用途に応じたRPA**を推奨できるようにする
 - 複雑な判断ロジックが入る業務ではなく、**ルールに基づいた繰り返し作業**に向いている
- 課題対策でRPAの活用を中小企業・法人にすすめているITCへも協力
 - 提案書作成に協力、提案の場にも参画



分科会 4 活動の詳細

■ 活動の効果 :

あるRPAベンダーの
お客様サポートに協力
することになった

6月に協業提案
10月協力スタート



RPAに関する**講師**が
できるようになった

5月分科会2勉強会
でセミナー実施

3月分科会4
主催セミナー実施



パソコン上で繰り返し
作業をしていた個人を
支援でき、その
作業を自動化した

9月に自動化実践



中小法人での
RPA活用を提案
できるようになった

10月に提案実施



分科会 4 活動の詳細

中小企業の課題解決に向けて具体的に使える手持ち道具を増やす活動について

2. 遠隔をつなぐ(Web会議ツール)

■ 活動内容 :

- 3月に入り、外出自粛でF2Fでの会議が難しくなる中、新しいコミュニケーション手段を活用できるように分科会4として模索し始めた

- Zoomセミナーの企画と実施

- 当初、集合セミナーを企画していたが、外出自粛により急遽オンラインセミナーへ切り替えて準備・実施
- ホスト機能など基本的なZoom機能を習得



- 分科会4の定例会をZoomにて実施

- Zoomのセキュリティ確認、安全運用のノウハウ・スキルと合わせて、Zoom会議特有の運営ノウハウも体得



- 各種Web会議ツールを体験

- Zoom、Teams、Webex、HangoutMeet、Chatwork、etc.
- 費用対効果・画質・音質・通信負荷・使い勝手を評価



分科会 4 活動の詳細

■ 活動の効果：

- セミナーのZoom運用は初めてだったが**Zoomの知識、運用テクニックとも向上し、**良い経験ができた



- 今回、またその後も含めてのzoomの利用で個人的な**Zoom活用のレベルが上がり、**支援企業への提供サービスが増えたことは個人的にも今回の活動に関わって良かった
- 支援企業様との**サポート・やり取りをZoomで実施**できるようになった



- 中小企業様向けの「はじめてのテレビ会議（Zoom）の体験」と題して、**Zoom体験セミナーを提案**できた



- 適切な参加人数、照明、マイク音量、発言方法、資料共有方法などWeb会議の運用を通じて**Web会議のノウハウを取得**できた



分科会 4 活動の詳細

中小企業の課題の解決策の提案を体験する活動について

3. 居酒屋コンサル実践体験

■ 背景と狙い：

ITCの活動として中心となる、**中小企業の課題**の原因を分析し解決策を提案する**コンサル****ティング**は、机上や他の方の体験談からでは学びにくい部分もあり、本活動では**自ら実践****体験**することで、それまでの経験とは違う、ITCとして将来、中小企業の支援を目指す、**自らの研鑽の方向性や動機付けを確実なものとする**ことを狙いとして本活動を、現在行っている。



■ 活動内容：

- ① **コロナ禍で大きな打撃を受けているある飲食店（居酒屋）**を支援している独立系のITCにご協力頂き、分科会4のメンバーの中から希望者が、その飲食店が**集客の改善のために活用しているHPやSNSに焦点をあて**、課題を捉え、原因を分析し、改善策を、協力頂いているITCを通して提案する、まさしく**コンサルティングを実践する**、という活動をスタートしている。
- ② HPやSNS活用の改善に**欠かせない以下のような領域の知識も並行して習得**することも行っている。

例えば、「Webマーケティング」、「SEO対策・SEO対策」、「Googleアナリティクス・その関連用語」、「SNS活用プロモーション」等。

分科会 4 活動の詳細

中小企業の課題の解決策の提案を体験する活動について

HP

<https://youzan1881.wixsite.com/mysite>



<https://www.facebook.com/youzan777>



和風創作居酒屋 侍と撫子の台
所 ようざん

@youzan777 · 居酒屋 · バー

通販サイト

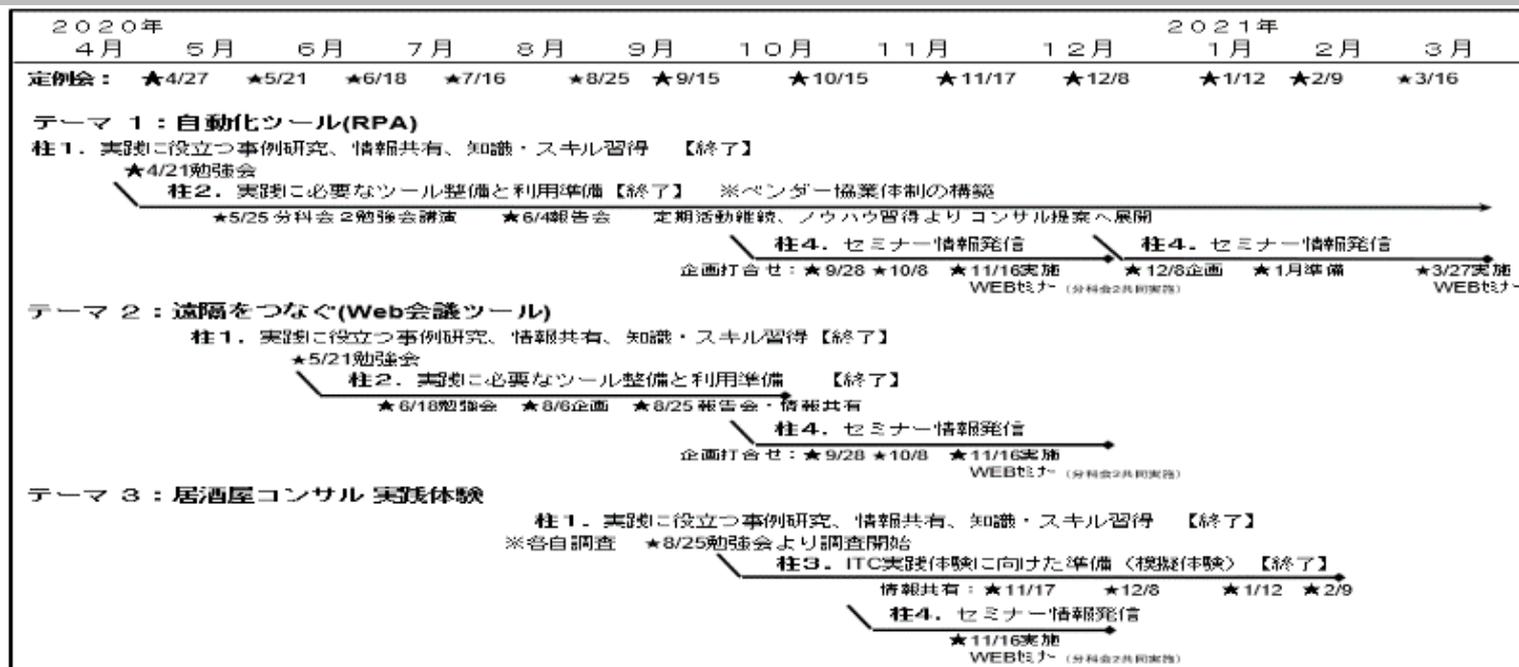
<https://youzan001.stores.jp/>



■ 活動の効果 :

分科会 4 メンバー希望者で「居酒屋さんHPのアクセス改善コンサル」を実践体験。コロナ禍で大打撃を受けた飲食業への支援を視野に、**柱1～柱3まで一貫して取り組んだ**。「Webマーケティング」、「SEO/MEQ対策」、「SNSを使ったプロモーション」各テーマで参加者の持寄り情報から**知識習得**を図り、**分科会 4 内への共有・蓄積**を行った。実際の**対策実施結果のフィードバック**を受けることで、アクセス改善の実践を体験した。

分科会 4 2020年度 活動状況



- ・ 定例会 実施12回 (延べ人数86名)
- ・ ミニ分科会 RPA深堀に関する活動 27回 (延べ人数129名)
- ・ 事例研究 ミラロボRPAトライアル (参加人数8名)
- ・ ミニ分科会 テレワーク導入に関する検討 3回 (延べ人数23名)
- ・ 分科会2にて情報共有「ミラロボRPAの情報共有」 (参加人数16名)
- ・ 居酒屋コンサル体験 (チャットワーク) (参加人数8名)
- ・ WEBセミナー「コロナ禍での社会的構造変化と我々ITCのビジネス機会」 (準備に係わった人数4名)
- ・ WEBセミナー「働き方改革を進め、社員の幸福度を高めるRPA体験セミナー」 (参加人数16名)
- ・ 2020年度 ITCAテーマ研究・調査活動に参画 計画/報告提出 (参加人数11名)

分科会 4 活動の成果と評価

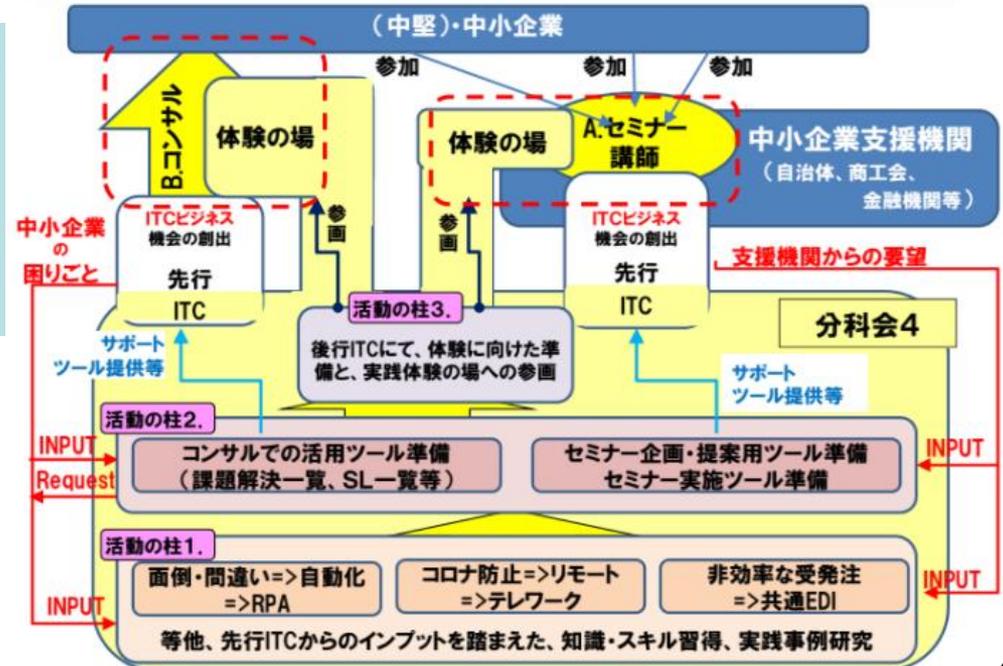
■ 成果と評価 :

- ・ 分科会 4 は、「ITCビジネスを実践したい会員ITCが実践的な研鑽をできる場作りとメンバー自らの実践的な研鑽」をミッションとして、この活動を継続的なものにするために、2020年度は、以下の4つの柱と、ミッションに向けたその運営方針を明確に描き、動き始め、前述のような成果を輩出することができた。
- ・ 2021年度は、これをさらに磨いて、より高めていきたい。

分科会 4 2020年度 活動方針（4つの柱）

- 活動の柱 1. 実践に役立つ事例研究、情報共有、知識・スキル習得
- 活動の柱 2. 実践に必要なツール整備と利用準備
- 活動の柱 3. ITC実践体験とそのための準備
- 活動の柱 4. 分科会 4 活動内容・取組みテーマ内容の発信

分科会 4 ITCビジネス実践体験に向けた活動のストーリー





7. 関係団体連携 ITCネットワーク強化

関係団体連携活動

★会長を中心に連携実施

●ITコーディネータ協会

5/22(金)、6/10(木) ~ (ほぼ毎月)

※コロナ禍により一部振替実施 理事会に参加

●ITC2005勉強会

5/28(木)、8/25(火)、11/23(月)、2/19(金)

定例勉強会に参加、ワーケーション、フィリピンでの英語研修留学、コロナ禍のダイエット体験など幅広く発表と討議

●ITCプロ東京

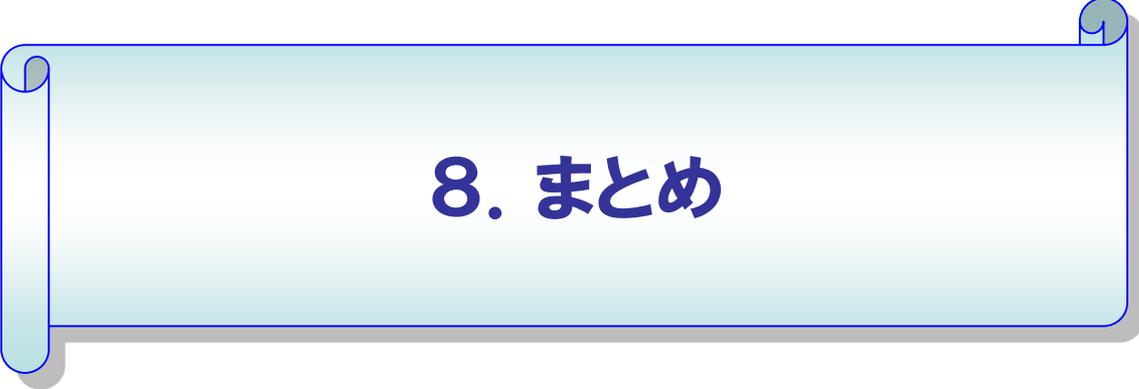
6/2(火) 経営者向けセミナーに登壇

「業務フローの見方・書き方・使い方」

<https://www.youtube.com/watch?v=GGeihOKAgAs>

●21世紀ITCクラブ

2/6(土) 主催セミナーに参加 DXとITC



8. まとめ

最後に

新型コロナウイルスの影響により第一四半期は活動が停滞したが、迅速にZoom活動に切り換え、下期には安定運用ができ、新生活様式での活動を行っている。

<成果>

- ・秋のITCセミナーではコロナ禍のITCビジネス、BASE副業、経営分析の講演を初めてZoomで行った。地方からの参加も増えた。
- ・分科会2では新型コロナで変わる環境変化、2045年のビジネスの姿、これからITCの方向性等の情報交換をZoomで行った。
- ・分科会3もZoomで開催、先輩ITCの企業卒業後の生き方を参考に、「ビジネスモデルYOU」でパーソナルキャンバスを描き好評。
- ・分科会4ではRPAの実践活用や居酒屋コンサルの実践を行った。
- ・関係団体連携活動としてはITCAの理事会参加、ITC2005勉強会、ITCプロ東京、21世紀ITCクラブ等との連携強化を進めている。

<課題>

- ・今後も続くであろうZoomでの会員交流について、親密でかつスキルアップに役立つ効果的な方法を模索していくことが課題となる。

以上